

# 東京都看護人材実態調査（教育機関養成施設編）

## 調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】株式会社アストジェイ（担当者:向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info\_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和2年1月17日(金曜日)までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、各教育機関・養成施設に勤務する看護職員（保健師、助産師、看護師）と在籍する看護学生に関して行うものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての施設が回答の対象です。

お手数ですが、全ての調査項目について各課程ごと、大学にあっては、大学院、大学、専攻科ごとにお答えください。

## I 基本情報

「施設等の基本情報」についてお聞きします

※以下については令和元年12月1日現在で記入してください。

問1 貴施設の名称について、国又は都知事の許可を受けている名称を記入してください。

(例) 学校法人〇〇

問2 貴施設の住所を記入してください。

(区市町村名から)

問3 貴施設の施設種別は次のうちどれですか。

- ① 大学院
- ② 大学
- ③ 看護師等養成所
- ④ 高等学校
- ⑤ 助産学専攻科

回答

問4 貴施設の設置者である団体・法人では、次の①～⑧の施設を運営していますか。運営している場合には、該当するものすべてに○を付けてください。

① 病院	
② 診療所	
③ 助産所	
④ 訪問看護ステーション	
⑤ 介護老人保健施設	
⑥ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	
⑦ 有料老人ホーム	
⑧ その他（具体的に： _____）	

問5 令和7（2025）年までに課程や学生定員の変更予定はありますか？

- ① 有
- ② 無

回答

【令和7（2025）年末までに変更の予定がある場合にお答えください。】

問5-1 どのような変更ですか。

- ① 学生定員増
- ② 学生定員減
- ③ 養成課程の変更
- ④ 学科の増設
- ⑥ 学科の廃止
- ⑥ 専門職大学への変更
- ⑦ 廃校

回答

## II 看護教員の状況

「就業状況」についてお聞きします

【看護師等養成所の方にお聞きします。】

問6 令和元年12月1日現在在籍している看護教員（休業退職者を含む）について、雇用形態別、就業形態別、職種別の教員数を記入してください。また、正規雇用の教員については年齢区分人数も記入してください。

【注釈】

- 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入  
例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
- 専任教員とは養成所指定規則に規定する資格を有する専任の教員のこと。
- 正規雇用 任期の定め（定年を除く）のない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- 非正規雇用 任期の定めのある雇用（再雇用含む）
- 常勤：学校で定められた勤務時間を全て勤務する教員（フルタイム）
- 非常勤：学校と雇用関係にあって常勤（フルタイム）でない教員のうち、看護職の資格を持ち、「看護学」を教えている教員を記入（週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等）

〈令和元年12月1日現在〉

（単位：人）

	専任教員の定数	正規雇用		非正規雇用	
		常勤	短時間正規雇用	常勤	非常勤
保健師					
助産師					
看護師					
合計					

	～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～	合計
常勤											

【大学・大学院の方にお聞きします。】

問7 令和元年12月1日現在在籍している看護教員（休業退職者を含む）について、職位別に記入してください。

【注釈】

- 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入  
例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
- 非常勤講師は看護職の資格をもち、「看護学」を教えている教員を記入（特任教員も含む）  
（週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等）
- 大学院と大学の両方に在籍されている看護教員は主たる方に人数を入れ、重複計上しないようにすること。

〈令和元年12月1日現在〉

（単位：人）

		教授	准教授	講師	助教	助手	合計	非常勤講師
専任教員の定数								
看護教員	保健師							
	助産師							
	看護師							
その他の教員								





※合計は、問9の合計と一致します。



※合計は、問 12 の退職者総数と一致します。



「専任看護教員の研修等」についてお聞きします

問 14 専任看護教員の資質向上のための研修を学校内で実施していますか。

- ① 実施している (→問 14-1 へ)
- ② 実施していない (→問 14-2 へ)

回答

【問 14 で「①実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 14-1 どのような研修を行っていますか。

--

【問 14 で「②実施していない」を選択した場合にお答えください。】

問 14-2 外部の研修を利用していますか。

- ① 利用している (→問 14-3 へ)
- ② 利用していない

回答

【問 14-2 で「①利用している」を選択した場合にお答えください。】

問 14-3 どのような研修を利用していますか。研修名、実施場所等をご記入ください。

例) 「中堅看護教員 ブラッシュアップ研修」(東京都ナースプラザ実施)

問 15 専任教員の資質向上のためにどのような研修が必要ですか。具体的に記載してください。

--

問 16 看護研究に対し、どのような支援を行っていますか。具体的に記載してください。

--

**Ⅲ 養成課程別学生の状況 ※養成課程別にご回答をお願いします。**

**入学状況についてお聞きします**

問 17 養成課程は、次のうちのどのコースですか。

- ① 保健師・助産師・看護師コース（大学・大学校）
- ② 保健師コース（大学院）
- ③ 助産師コース（大学院）
- ④ 助産師コース（大学専攻科）
- ⑤ 助産師コース（昼1年）
- ⑥ 助産師コース（定時制昼2年）
- ⑦ 保健師・看護師コース（統合カリキュラム）
- ⑧ 看護師コース（3年課程）
- ⑨ 看護師コース（2年課程全日制）
- ⑩ 看護師コース（2年課程・定時制昼3年）
- ⑪ 看護師コース（2年課程・定時制夜3年）
- ⑫ 看護師コース（2年課程・通信制）
- ⑬ 准看護師コース（昼2年）
- ⑭ 准看護師コース（昼3年）

問 18 令和元年度の1学年の定員数は何人ですか。また総定員数は何人ですか。

1学年定員数		人
総定員数		人

問 19 令和元年度の応募・受験者数等について記入してください。

（単位：人）

令和元年度	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
/					

問 20 令和元年度の入学者を男女別、出身地（都内・都外）別に記入してください。

※出身地については、入学試験願書提出時の居住地とします。

（単位：人）

令和元年度	男	女	合計
入学者数			
(内数)都内出身者			
(内数)都外出身者			

※入学者数の計は、問18の入学者数と一致します。

問 21 令和元年度の入学者の人数を年齢別に記入してください。

問21 令和元年度の入学者の人数を年齢別に記入してください。

（単位：人）

令和元年度	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳～	平均年齢
入学者数										

※各年齢区分の計は、問19の入学者数と一致します。

問 22 学生の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。  
また、その中で最も効果があったと思うもの1つを選択し、◎を付けてください。

	行っている (○は複数)	最も効果あり (◎は1つ)
① 教育内容の充実、ユニークな教育活動		
② ホームページの充実、頻繁な更新		
③ 入学試験における科目や形態の変更、多様化		
④ 入学試験における推薦枠の拡充		
⑤ 入学試験における社会人枠の拡充		
⑥ 高校訪問、勧誘活動		
⑦ 男子校への勧誘活動		
⑧ 学校説明会・オープンキャンパスの開催、随時受付		
⑨ 高校が行う進路説明会等への参加		
⑩ 業者が行う合同進学説明会等への参加		
⑪ 学費の減額制度		
⑫ 奨学金制度のある病院とのタイアップ		
⑬ 学校独自の奨学金制度		
⑭ 東京都看護師等修学資金等の積極的案内		
⑮ 専門実践教育訓練指定講座としての認定		
⑯ 外国人学生の積極的な受入れ		
⑰ 校舎整備(改築、改修等)		
⑱ 学生寮の整備・学生用住宅の確保		
⑲ その他(具体的に: )		

→問22-1へ

問22-3へ

問 22-1 問 22 で⑪の「学費の減額」を行っている場合、行っている免除の種類に○をつけてください。  
また、対象学生の主たる要件の該当するものに○をつけ、減免した人数を記入してください。

免除の種類	行っているもの	対象学生	減免人数
入学金免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業全額免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業料半額免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業料の一部を免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
その他(具体的に: )		低所得・成績優秀・その他の要件	人

問 22-2 令和2年4月1日から始まる「高等教育の就学支援制度」を導入し、入学金及び授業料の減免を実施する予定はありますか。

- ① ある  
② ない

回答

問 22-3 問 22 で⑫、⑬、⑭、⑮を行っている場合、行っている(案内している)奨学金に○をつけてください。  
 また、令和元年度の利用人数と入学前に予約している利用人数を内数で記入してください。  
 (2種類以上利用している場合、それぞれに計上してください。)

修学資金等の種類	実施又は案内	人数	うち入学前予約人数
① 東京都看護師等修学資金第一種貸与 (一口21,000円~83,000円のもの)			
② 東京都看護師等修学資金第二種貸与 (一口25,000円のもの)			
③ 都内の病院等に就業することで返還が免除される貸付金(上記①を除く)			( )
④ 都外の病院等に就業することで返還が免除される貸付金			( )
⑤ 学校独自の奨学金(給付型)			( )
⑥ 学校独自の貸付金			( )
⑦ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金(給付型)			( )
⑧ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金 第一種(無利息)			( )
⑨ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金 第二種(利息有)			( )
⑩ 東京都育英資金			( )
⑪ 病院とタイアップした奨学金(具体的に: )			( )
⑫ 専門実践教育訓練給付制度			( )
⑬ その他(具体的に: )			( )

### 退学についてお聞きします

問 23 平成 30 年度の退学者の人数を学年別に記入してください。  
 ( )内には、男子の人数を内数で記入してください。

(単位: 人)

平成30年度	1年生	2年生	3年生	4年生
退学者数	( )	( )	( )	( )

問 24 平成 30 年度の退学者の退学理由別の人数を、学年別に記入してください。  
 ( )内には、男子の人数を内数で記入してください。

(単位: 人)

	1年生	2年生	3年生	4年生
学力・成績	( )	( )	( )	( )
健康	( )	( )	( )	( )
進路変更	( )	( )	( )	( )
経済的	( )	( )	( )	( )
その他	( )	( )	( )	( )
計	( )	( )	( )	( )

※学年別の計は、問23の学年別の内訳と一致します。

**国家試験等の対策についてお聞きします**

問 25 平成 30 年度の国家試験及び准看資格試験の受験者数と合格者数を記入してください。

(単位：人)

平成30年度	保健師	助産師	看護師	准看護師
受験者数	( )	( )	( )	( )
合格者数	( )	( )	( )	( )

※( )内には、既卒者の受験者数・合格者数を把握している場合、記載してください。

問 26 国家試験等合格に効果をあげている対策があれば、その内容を記入してください。

問 27 不合格者に対する対応は、どのようにしていますか。

**就職支援についてお聞きします**

問 28 就職支援体制について、実施しているものに全て○をつけてください。

就職支援体制	実施している
① キャリア教育	
② 就職資料室の整備	
③ 専任就職相談員の配置	
④ 兼任就職相談員の配置	
⑤ 学校で就職説明会を実施	
⑥ 先輩の体験を聞く会を実施	
⑦ インターシップの案内と参加推奨	
⑧ ナースバンク(東京都ナースプラザ)の出張説明会	
⑨ その他(具体的に: )	

問 28-1 問 28 の⑤の就職説明会を実施している場合、開催時期等についてお答えください。  
また、参加施設の種類について該当するものに○をつけてください。

開催時期	対象学年	参加施設
		都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関
		都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関



問 29 学生が希望する就職先として希望がある施設に丸を付け、人気のある施設を3つ選び、順位をつけてください。

施設の種類	希望があるもの	人気のあるもの (1位～3位まで)
200床以上の病院		
200床未満の病院		
精神科の病院		
診療所		
助産所		
訪問看護ステーション		
介護老人保健施設等高齢者施設		
障害者支援施設		
児童福祉施設		
行政機関(保健所、地域包括支援センター等)		
看護師養成・教育機関		

問 30 学生が就職先を決めるに当たり、重点をおいているものは何ですか。重点をおいていると思うものを3つ選んでください。

- ① やりたい看護ができる(看護観)
- ② 興味のある分野(救急、小児、精神、在宅など)・施設
- ③ 新人研修等の教育体制が整っている
- ④ 勤務条件(給与・福利厚生・休暇制度など)がよい
- ⑤ ライフステージに合わせた多様な勤務形態がある
- ⑥ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援がある
- ⑦ 今の住居から通勤できる・通勤しやすい
- ⑧ 先輩や知人が就職している
- ⑨ 在籍する学校・養成所の関連病院・施設である
- ⑩ 実習した病院・施設である
- ⑪ 借りている貸付金の返還免除対象施設である
- ⑫ 家族の賛成がある

回答		

**卒業後の進路についてお聞きします**

問 31 平成 30 年度の卒業生の人数を、進路別に記入してください。

(単位：人)

	看護系									その他				合計
	就職者			進学者						看護系以外		不明	計	
	都内	都外	計	大学院	大学		短大	養成所		計	就職			
					保健師	助産師		助産師	看(2)					
平成 30年度														

※「看(2)」とは、看護師2年課程です。





問 34 卒業生の現在の就業動向等を把握するため、何らかの方策を実施していますか。  
 (結果として、把握できていなくても構いません。)

- ① 実施している (→問34～問34-2へ)
- ② ない (→問35へ)

回答

**【問 34 で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】**

問 34-1 どのような方法で就業動向等の把握に努めていますか。当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。

	当てはまるものすべてに○
① 同窓会誌などに連絡用のはがき等を同封し、回収している	
② 就業動向等を把握するための調査を実施している	
③ 転居・転職などの際は、知らせる仕組みになっている(ホームページ登録、ファクシミリ等)	
④ その他(具体的に: _____)	

**【問 14 で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】**

問 34-2 就業動向を把握する期間としては、卒後、何年程度を目安に行っていますか。

- ① 1年間
- ② 3年程度
- ③ 5年程度
- ④ 10年程度
- ⑤ それ以上

回答

問 35 卒業生の離職防止・定着支援を行っていますか。

- ① 行っている (→問35-1へ)
- ② 行っていない (→問36へ)

回答

**【問 35 で「① 行っている」を選択した場合にお答えください。】**

問 35-1 どのような支援を行っていますか。自由にご記入ください。  
 (例:ホームカミングデーの開催、Web上で相談窓口や掲示板を開設 等)

**実習施設についてお聞きします**

**問 36 実習施設の所在地が学校所在地と同区市内か等について当てはまる番号欄に○をつけてください。  
施設の場所が複数ある場合は、当てはまる全ての番号に○をつけてください。**

実習施設の種類	①学校所在地と同じ区・市内	②学校所在地の近隣区・市内	③都内(①②以外)	④都外
病院				
助産所				
訪問看護ステーション				
保育所等				
高齢者施設等				
障害者支援施設等				
地域包括支援センター				
その他				

**問 37 実習施設に支払っている謝金について施設の種類ごとに平均単価をご記入ください。  
また、年間定額で支払っている場合は定額の欄にご記入ください。**

実習施設の種類	施設使用料(1日につき)	学生指導料(一人につき)	その他費用	定額(1年間)
病院	円	円	円	円
助産所	円	円	円	円
訪問看護ステーション	円	円	円	円
保育所等	円	円	円	円
高齢者施設等	円	円	円	円
障害者支援施設等	円	円	円	円
地域包括支援センター	円	円	円	円
その他	円	円	円	円

**問 38 実習施設の確保等の状況で当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。**

	当てはまるものすべてに○
① 特に問題はない	
② 実習施設が不足している	
③ 実習施設の受け入れ条件(時期、制約)が厳しい	
④ 実習受け入れ人数の制限が厳しい	
⑤ 実習先の看護師スタッフが不足している	
⑥ 実習生の受け持ち患者が不足している	
⑦ 実習施設に係る看護教員が不足している	
⑧ その他(具体的: )	

#### IV その他について

問 39 平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、看護業務から離職した場合に住所、氏名等をナースセンターに届け出ることになっています。教員になる場合にも届け出が必要ですがこのことを教員に周知していますか。

- ① 周知している
- ② 周知していない

回答

問 39-1 将来、離職した場合の手続きとして学生には周知していますか。

- ① 周知している
- ② 周知していない

回答

問 39-2 問 39 及び問 39-1 で周知していないを選択された場合、その理由をお答えください。

--

最後にご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

--

以上で調査は終了です。  
御協力いただき誠にありがとうございました。

※調査内容に齟齬等がある場合にお問合せさせていただくことがありますので、差し支えなければご連絡先をご記入ください。

【ご担当者】 所属部署:

氏 名:

連 絡 先:

